

経営評価シート

1. 団体の基本情報							
団体名	(公財) 福岡県建設技術情報センター		設立年月日	平成7年5月1日			
所在地	福岡県糟屋郡篠栗町田中三丁目10番20号						
出資総額	3,000千円		主な出資者	出資額	出資割合		
県出資額	2,400千円		(公財) 福岡県市町村振興協会	300千円	10.0%		
県出資割合	80.0%		北九州市	150千円	5.0%		
			福岡市	150千円	5.0%		
設立目的等	建設技術に関する調査・研究、建設技術水準の向上、建設資材の品質の向上等に関する事業を行うとともに、福岡県建設技術情報センターの特性と機能を活かした事業を行い、もって後世に誇りうる質の高い社会資本の整備に寄与することを目的とする。近年の新技术に関する情報・知識を整理し、これを活用して県民の多様なニーズに応えるとともに、公共事業のより適正で円滑な執行と、良質な社会資本の整備充実を図る。						
主要事業の内容							
事業名	事業内容						
研修事業	公共事業に携わる市町村・県の職員や民間の建設技術者に対して、業務遂行に必要な技術力及び知識の向上を図るため、技術研修を実施している。						
土木技術支援事業	福岡県及び県内市町村等からの委託を受け、橋梁、トンネル、水門、下水道工事等公共工事の積算、工事監理といった発注者支援業務を実施している。また、発注者の業務精度の向上や職員の技能向上を図るため、積算システムによる支援にも取り組んでいる。						
維持管理支援事業	予算、人材、技術力に制約のある市町村からの委託を受け、橋梁点検サポートシステムを提供し、橋梁諸元の登録、直営点検の代行、橋梁点検地域一括発注を実施している。						
建設材料試験事業	福岡県及び県内市町村工事の適正な執行を図るため、福岡県の技術管理基準に定められている各種建設材料の試験を行い、試験成績書を発行している。						
耐震診断・設計等事業	福岡県及び県内市町村等からの委託を受け、公共建築物等の耐震診断、耐震改修計画の策定、建築・改修の基本計画、設計・積算、工事監理等を実施している。						
事業実績に関する情報	単位	R2	R3	R4	R5	R6	備考
研修受講者数	人	1,040	1,903	1,736	1,728	1,702	
土木技術支援受託件数	件	443	434	330	236	334	
橋梁点検数	橋	2,321	2,412	2,079	677	2,093	
材料試験件数	件	40,856	39,378	34,136	29,303	29,777	
耐震・設計等受託件数	件	28	18	27	28	10	
2. 団体の組織・人員情報							
代表者名	理事長	植木 昭光		区分	県OB		常勤
常勤役員名	専務理事	白鳥 義文		区分	県OB		常勤
		R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1	R6.4.1	R7.4.1
常勤役員数(※)		2名	2名	2名	2名	2名	2名
職員数	常勤(正規)	33名	33名	33名	32名	32名	31名
	うち プロパー	-	-	-	-	-	-
	嘱託(常勤・非常勤)等・臨時	27名	28名	28名	28名	28名	27名
	合計	60名	61名	61名	60名	60名	58名
増減の主な理由							
R6→R7 県派遣職員-1、常勤嘱託職員-1							
3. 県関与の状況							
人的支援(常勤役員再掲)(※)	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1	R6.4.1	R7.4.1	
県派遣	29名	29名	29名	28名	28名	27名	
県OB	2名	2名	2名	2名	3名	3名	
財政支出	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1	R6.4.1	備考	
出資金	-	-	-	-	-		
貸付金	-	-	-	-	-		
補助・負担金	-	-	2,376千円	440千円	-		
委託料	1,079,626千円	1,241,849千円	1,124,471千円	786,249千円	1,297,570千円		
4-①. 中期経営計画における改善に向けた取り組みの方向性(R4~R8)							
今後とも安定した公益目的事業を実施するため、公益法人としての認定基準を遵守し、公益目的事業の充実を図っていく。また、引き続き、災害復旧・復興事業の円滑な執行を図るため、県内自治体の積算・現場技術支援に努めるとともに、公共事業の執行に係る依頼や要請にも適切に対応していく。							

※役員改選を理由とする年度当初の一時的な減は反映していない。

4-②. 中期経営計画における改善目標の達成状況

改善目標の区分(視点)	目標達成に向けた具体的な取組、戦略等	指標		単 位	上段：計画 下段：実績						改善目標区分の達成に向けた2024年度(R6)の取組状況	
					2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)		
事業活動・住民サービス (計画的・公益性等)	①公共工事の品質確保のための適正な試験の実施	建設材料試験事業	材料試験件数	件		31,000					31,000	<p>①建設材料試験事業については、県の指定管理業務として、公共工事等に使用される土質・コンクリート・アスファルト等の試験を適正に行い、建設材料の品質確保が図れるように努めた。</p> <p>②研修事業については、県・市町村の行政職員及び民間の建設技術者を対象とした研修を開催している。令和6年度は、実際の河川で生物採取等を行う「多自然型川づくり研修」、被災自治体職員を招いて東日本大震災の経験談を聞く「防災(地震)研修」、無人航空機(ドローン)の基本操作を習得するための「ドローン研修」を実施した。また、建設業の生産性向上と働き方改革の推進を図るため、建設業者を対象に「i-Constructin研修」として、ICT建設機器体験やICT活用事例の紹介を行った。今後も受講者からのニーズを踏まえて研修内容の充実を検討していく。</p> <p>③維持管理支援事業については、予算・技術者が不足している市町村からの委託を受け、橋梁長寿命化の支援に取り組んでいる。橋梁点検については、5年毎に1回の点検が義務づけられており、令和6年度は3巡目点検の1年目となっている。昨年度と比べ点検数は約3倍に増加しており、令和7年度は再び件数が増加する見込み。なお、この橋梁点検数については、管理者である市町村の点検サイクルに左右される要素が大きいため、市町村には点検数の平準化を図るよう引き続き依頼している。</p> <p>④建築技術支援、耐震診断・設計等事業については、県及び市町村の公共事業における設計・積算業務、工事監理・検査業務、耐震診断業務等を行っている。発注者支援事業については、学校等の総合管理、基本設計、実施設計、事業者選定等の支援を行った。設計・工事監理事業については、体育館の改修工事の設計や福祉施設の大規模改修工事の工事監理等を行った。</p>
						39,378	34,136	29,303	29,777			
	②公共事業に携わる県内地方公共団体の技術職員や民間の建設従事者に対して、業務遂行に必要な技術力及び知識の向上を目的に技術研修を実施し、技術者のスキルアップを図る	研修事業	研修受講者数(県・市町村)	人		1,290					1,290	
						1,480	1,357	1,235	1,270			
	③予算、技術者が不足している市町村から委託を受け、橋梁の直営点検代行、地域一括発注を実施し、市町村支援の充実を図る。	維持管理支援事業	橋梁点検数	橋梁		2,130					2,400	
						2,412	2,079	677	2,093			
	④建築技術者が不足する地方公共団体に対する発注者支援業務及び設計・工事監理事業の拡充を図る。	建築技術支援、耐震診断・設計等事業	発注者支援事業受託件数	件		6					6	
						13	6	7	11			
					件		32				32	
							16	25	26	10		
財務会計 (経済性・効率性等)	①公共工事の品質確保に向けた積算、現場技術支援等により市町村支援の充実を図る。	土木技術支援事業	総受託費	千円		937,274					780,000	
						1,231,469	1,086,443	779,701	1,221,797			
	②県財政負担率の適正化を図る。	県財政支出率※1		%		68.3					63.9	
						73.9	73.9	68.9	78.4			
内部管理 (健全性等)	①行政改革大綱の実施	事業継続計画(BCP)の作成				検討					実施	
						-	検討	実施	実施			
		ワーク・ライフ・バランスの向上に資する制度の導入					検討					実施
							-	検討	検討	検討		

達成状況(まとめ)

建設材料試験事業については、災害復旧工事の進捗やAS粒度試験の省略化により試験件数は低減傾向にあり、目標値を下回っているが、令和5年災の復旧工事の本格化に伴い、件数は微増であった。

研修事業については、行政職員向けの研修事業において昨年度の実績を上回っているが、研修室の空調設備改修工事に伴う中断期間もあり目標達成には至らなかった。

維持管理支援事業については、3巡目となる5年毎の点検サイクルの点検1年目で件数は3倍増加。令和7年度はさらに増加する見込み。

建築技術支援、耐震診断・設計等事業については、当初予定していた市町村からの受託が予算の都合等で減少した。

事業継続計画(BCP)の作成については他県の実績調査の結果等を踏まえ作成した。令和6年度から実施している。

ワーク・ライフ・バランスの向上に資する制度の導入については、勤務形態を柔軟にする在宅勤務制度を引き続き活用するとともに、職員の勤務環境の改善のため退勤管理システムの構築検討を実施した。

5. 経営状況（公益法人）							
項目	単位	R2	R3	R4	R5	R6	
<b>【貸借対照表】</b>							
資産合計	千円	1,433,232	1,786,072	1,667,011	1,389,980	1,599,708	
うち金銭債権	千円	811,112	766,394	785,481	546,064	940,991	
うち特定資産	千円	342,000	486,000	546,000	332,000	350,000	
負債合計	千円	484,228	628,725	444,017	381,889	585,233	
うち借入金額	千円	100,000	-	-	77,400	80,000	
うち県からの借入金額	千円	-	-	-	-	-	
正味財産合計	千円	949,003	1,157,347	1,222,993	1,008,091	1,014,475	
県債務保証額又は損失補償額	千円	-	-	-	-	-	
県損失補償債務残高	千円	-	-	-	-	-	
団体債務保証額	千円	-	-	-	-	-	
<b>【正味財産増減計算書】 Sheet4 法人全体より転記</b>							
経常収益 A	千円	1,603,149	1,680,978	1,524,211	1,141,681	1,655,664	
うち県財政支出額 B	千円	1,079,626	1,241,849	1,126,847	786,249	1,297,570	
内訳：補助金・負担金	千円	-	-	2,376	440	-	
内訳：委託料	千円	1,079,626	1,241,849	1,124,471	785,809	1,297,570	
うち最も多額な項目	項目名						
	千円	263,508	214,784	191,438	139,269	217,541	
経常費用 C	千円	1,523,039	1,472,454	1,456,476	1,356,419	1,647,144	
うち人件費総額 D	千円	429,753	424,277	435,630	430,369	432,904	
評価損益等合計額 E	千円	-	-	-	-	-	
経常増減額 F=(A-C+E)	千円	80,110	208,524	67,735	△ 214,738	8,520	
経常外損益 G	千円	△0	△0	-	△0	△ 1,955	
法人税、住民税及び事業税 I	千円	181	181	2,088	164	181	
当期一般正味財産増減額 J=(F+G)-I	千円	79,929	208,343	65,647	△ 214,902	6,384	
当期指定正味財産増減額 K	千円	-	-	-	-	-	
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 L	千円	1,079,626	1,241,849	1,126,847	786,249	1,297,570	
<b>【財務指標】</b>							
正味財産比率	%	66.2	64.8	73.4	72.5	63.4	
県財政支出率 (=B/A)	%	67.3	73.9	73.9	68.9	78.4	
人件費率 (=D/A)	%	26.8	25.2	28.6	37.7	26.1	
収益事業比率	%	6.0	3.6	5.4	7.4	1.9	
受託事業外注費比率	%	57.5	52.2	55.4	65.8	61.0	
<b>【団体毎の経営評価指標】</b>							
研修受講者数	人	1,040	1,903	1,736	1,728	1,702	
材料試験手数料収入	千円	206,416	210,788	171,628	146,250	147,874	
維持管理支援事業収益、土木技術支援受託収益、耐震診断・設計等支援事業益合計	千円	1,460,542	1,506,753	1,359,571	982,636	1,470,548	
<b>【常勤役職員の報酬・給与に関する状況（R6年度）】</b>							
常勤役員平均年齢	60.5歳	常勤役員平均年収	7,755千円	常勤職員平均年齢	47.2歳	常勤職員平均年収	7,599千円
<b>【経営状況に関する各数値、指標の増減理由】</b>							
<p>当期指定正味財産増減額の増加及び県財政支出率の増加の主な理由は、土木技術支援事業において災害復旧・復興事業に係る県からの受注が、繰越分も含め大幅に増加したことによるものである。</p> <p>人件費率の減少の主な理由は、前記のとおり、土木技術支援事業において県からの受託が増加したことにより、経常収益が大幅に増加したことによりものである。</p>							
<b>6. 団体（経営責任者）の自己点検評価</b>							
<p>令和5年梅雨前線豪雨災害の復旧・復興を図るため、土木技術支援事業として発注者支援事業を適切に実施したほか、県内の社会資本の整備と適切な維持管理、建設技術者の人材育成と資質の向上を図るため、橋梁点検業務の受託や、各種研修を行ったことから財団の設立目的を達成している。</p>							
<b>7. 外部専門家の意見</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修事業について、県や市町村からの受講者数は前年度から増加したものの、建設業界技術者の受講者数は減少している。当年度はドローン研修や、ICT建設機器体験研修を開催するといった取組みを実施しており、引き続き、環境やニーズの変化に対応した研修事業の充実・強化に努めることが求められる。</li> <li>・ 維持管理支援事業について、橋梁点検件数が前年度と比較し約3倍増加している。橋梁点検数については、管理者である市町村の点検サイクルに左右されるため、市町村に点検数の平準化を図るよう引き続き依頼することが求められる。</li> </ul>							
<b>8. 経営評価委員会による経営評価結果</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修事業の建設業従事者の研修受講者数については、目標数を下回っているものの、受講者のニーズをふまえ、新たにドローン研修などを実施している。今後も、研修内容の充実・強化を図ることが求められる。</li> <li>・ 市町村支援事業である維持管理支援事業の橋梁点検数については、点検サイクルの関係で前年度に比べ大幅に増加したものの目標値を下回った。令和7年度は、更に増加が見込まれるが、年度間の点検数の平準化を図るため、引き続き、市町村に依頼していくことが求められる。</li> <li>・ 令和5年7月豪災害等に係る復旧事業については、引き続き、発注者の要請に応え、支援に取り組むことが期待される。</li> </ul>							

（注）表示単位未満四捨五入の関係で、数式による算出値と表示が一致しない場合がある。

5-②. 経営状況(内訳表)							
項目		単位	R2	R3	R4	R5	R6
<b>(正味財産増減計算書)</b>							
法人全体	経常収益 A	千円	1,603,149	1,680,978	1,524,211	1,141,681	1,655,664
	うち県財政支出額 B	千円	1,079,626	1,241,849	1,126,847	786,249	1,297,570
	内訳:補助金・負担金	千円	-	-	2,376	440	-
	内訳:委託料	千円	1,079,626	1,241,849	1,124,471	785,809	1,297,570
	うち最も多額な項目	項目名	維持管理支援事業収益	維持管理支援事業収益	維持管理支援事業収益	土木技術支援受託収益	維持管理支援事業収益
		千円	263,508	214,784	191,438	139,269	217,541
	経常費用 C	千円	1,523,039	1,472,454	1,456,476	1,356,419	1,647,144
	うち人件費総額 D	千円	429,753	424,277	435,630	430,369	432,904
	① 評価損益等合計額 E	千円	-	-	-	-	-
	③ 経常増減額 F=(A-C+E)	千円	80,110	208,524	67,735	△ 214,738	8,520
	経常外損益 G	千円	△ 0	△ 0	-	△ 0	△ 1,955
	法人税、住民税及び事業税 I	千円	181	181	2,088	164	181
	当期一般正味財産増減額 J=(F+G)-I	千円	79,929	208,343	65,647	△ 214,902	6,384
	当期指定正味財産増減額 K	千円	-	-	-	-	-
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 L	千円	1,079,626	1,241,849	1,126,847	786,249	1,297,570	
公益目的事業会計①	経常収益 A①	千円	1,507,344	1,620,272	1,442,520	1,056,832	1,624,380
	うち県財政支出額 B①	千円	1,051,770	1,231,581	1,093,813	775,436	1,293,053
	内訳:補助金・負担金	千円	-	-	2,376	440	-
	内訳:委託料	千円	1,051,770	1,231,581	1,091,437	774,996	1,293,053
	うち最も多額な項目	項目名	維持管理支援事業収益	維持管理支援事業収益	維持管理支援事業収益	土木技術支援受託収益	維持管理支援事業収益
		千円	263,508	214,784	191,438	139,269	217,541
	経常費用 C①	千円	1,415,440	1,417,589	1,393,522	1,268,464	1,611,381
	うち人件費総額 D①	千円	369,491	397,080	402,660	382,882	411,094
	① 評価損益等合計額 E①	千円	-	-	-	-	-
	経常増減額 F①=(A①-C①+E①)	千円	91,903	202,683	48,998	△ 211,632	12,998
	経常外損益 G①	千円	△ 0	△ 0	-	△ 0	△ 1,882
	① 他会計振替額 H①	千円	-	3,869	10,471	-	-
	法人税、住民税及び事業税 I①	千円	-	-	-	-	-
	当期一般正味財産増減額 J①=(F①+G①+H①)-I①	千円	91,903	206,552	59,469	△ 211,632	11,117
当期指定正味財産増減額 K①	千円	-	-	-	-	-	
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 L①	千円	1,051,770	1,231,581	1,093,813	775,436	1,293,053	
収益事業等会計②	経常収益 A②	千円	95,805	60,500	81,691	84,837	31,226
	うち県財政支出額 B②	千円	27,856	10,268	33,034	10,813	4,517
	内訳:補助金・負担金	千円	-	-	-	-	-
	内訳:委託料	千円	27,856	10,268	33,034	10,813	4,517
	うち最も多額な項目	項目名	耐震診断・設計等支援事業益	耐震診断・設計等支援事業益	耐震診断・設計等支援事業益	耐震診断・設計等支援事業益	耐震診断・設計等支援事業益
		千円	67,948	50,232	48,656	74,023	26,693
	経常費用 C②	千円	103,336	52,663	60,616	85,409	33,392
	うち人件費総額 D②	千円	56,828	25,745	31,365	45,821	20,260
	② 評価損益等合計額 E②	千円	-	-	-	-	-
	経常増減額 F②=(A②-C②+E②)	千円	△ 7,531	7,838	21,075	△ 572	△ 2,165
	経常外損益 G②	千円	-	-	-	-	-
	② 他会計振替額 H②	千円	-	△ 3,869	△ 10,471	-	-
	法人税、住民税及び事業税 I②	千円	181	181	2,088	164	181
	当期一般正味財産増減額 J②=(F②+G②+H②)-I②	千円	△ 7,712	3,788	8,516	△ 736	△ 2,346
当期指定正味財産増減額 K②	千円	-	-	-	-	-	
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 L②	千円	27,856	10,268	33,034	10,813	4,517	
法人会計③	経常収益 A③	千円	1	206	-	12	57
	うち県財政支出額 B③	千円	-	-	-	-	-
	内訳:補助金・負担金	千円	-	-	-	-	-
	内訳:委託料	千円	-	-	-	-	-
	うち最も多額な項目	項目名	雑収益	雑収益	雑収益	雑収益	雑収益
		千円	-	205	-	12	52
	経常費用 C③	千円	4,263	2,202	2,338	2,547	2,371
	うち人件費総額 D③	千円	3,434	1,451	1,605	1,666	1,550
	③ 評価損益等合計額 E③	千円	-	-	-	-	-
	経常増減額 F③=(A③-C③+E③)	千円	△ 4,262	△ 1,996	△ 2,338	△ 2,535	△ 2,314
	経常外損益 G③	千円	-	-	-	-	△ 73
	③ 他会計振替額 H③	千円	-	-	-	-	-
	法人税、住民税及び事業税 I③	千円	-	-	-	-	-
	当期一般正味財産増減額 J③=(F③+G③+H③)-I③	千円	△ 4,262	△ 1,996	△ 2,338	△ 2,535	△ 2,387
当期指定正味財産増減額 K③	千円	-	-	-	-	-	
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 L③	千円	-	-	-	-	-	

(注) 表示単位未満四捨五入の関係で、数式による算出値と表示が一致しない場合がある。